

# 令和4年度 東京都立豊島高等学校

## 推薦に基づく選抜

### 小論文

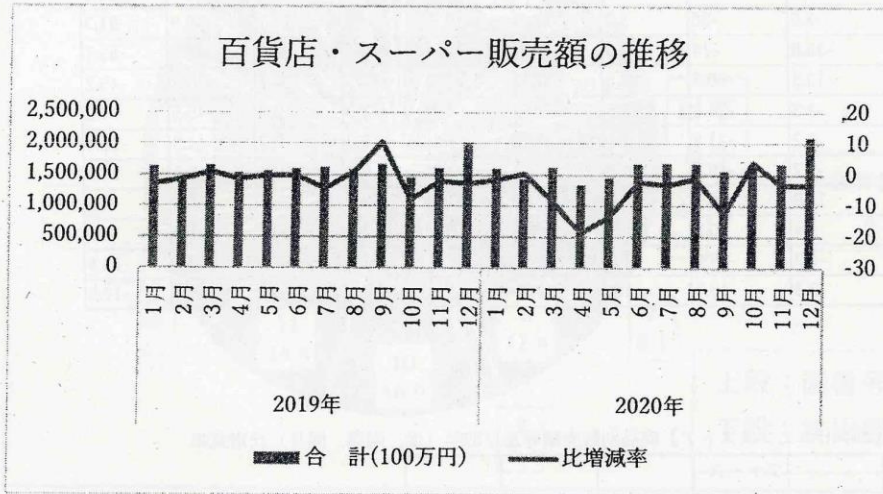
#### 注意

- 1 問題は  から  までで、4ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は50分で、終わりは13時00分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 答えは横書きで1マス目から書き始め、段落分けや1マス目空きはしないこと。
- 7 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

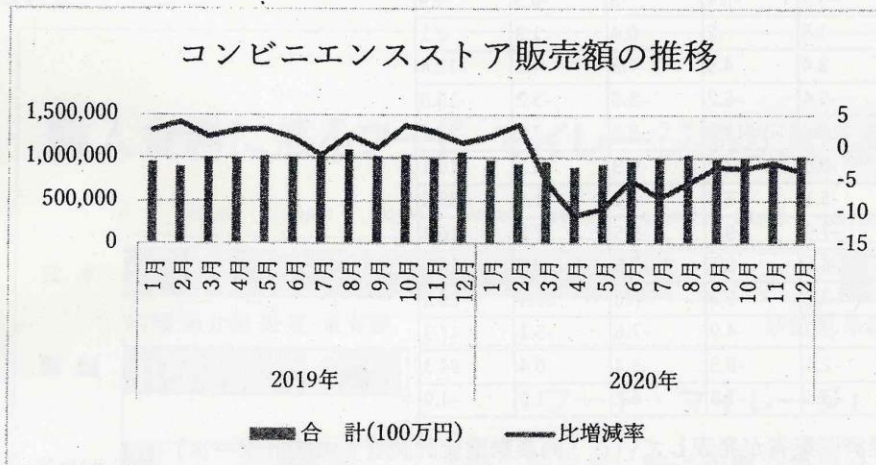
1

次の図表1～4は、経済産業省「商業動態統計調査」の統計データを基に作成したグラフである。図表1～4を見て後の問いに答えよ。

図表1



図表2



図表 3

2020年 【百貨店・スーパー】商品別販売額等及び前年（度、同期、同月）比増減率

	全体	衣料品	飲食品	家具	家庭用 電気機 械器具	家庭用品	その他の 商 品	食堂 ・ 喫茶	商品券 販売額
2020年全体	-5.4	-26.6	3.7	-16.4	-3.5	-5.9	-13.6	-41.1	-20.4
1月	-1.6	-5.9	0	-11.3	-7.1	-5.9	0	-1.9	-9.5
2月	0.3	-13.4	5.1	-10	-3.9	0.7	-2.3	-13.4	-13.2
3月	-8.6	-36	3.8	-20.2	-12.7	-9	-16.7	-45.9	-21.3
4月	-18.8	-74	5	-39.1	-12.1	-23.5	-38.3	-86.6	-55.7
5月	-13.5	-60.3	6.5	-32.8	-2.3	-17.3	-30.7	-83	-45.2
6月	-2.3	-14.1	3.5	-4.2	9.6	7.3	-10.2	-45.5	-7.2
7月	-3.2	-21.8	4.2	-13.8	1.4	-0.3	-9.2	-44.3	-18.4
8月	-1.2	-19.7	6	-7.6	-3.5	0.8	-10.4	-45.1	-14.9
9月	-12.8	-35.6	2	-34.6	-29.3	-20.3	-30.6	-35.4	-23
10月	4	-0.3	5	15	7.7	7.6	4.9	-21.8	-21
11月	-3.2	-18.6	2.6	-17	2	-3.3	-4.7	-28.6	-16.4
12月	-3.3	-16.7	1.6	-11.5	12.4	-2.9	-8	-36.2	-12.3

図表 4

2020年 【コンビニエンスストア】商品別販売額等及び前年（度、同期、同月）比増減率

	全体	ファース トフード 及び日記 食品	加工食品	非食品	サービス 売上高
2020年全体	-4.4	-6.4	-5	-0.5	-9.9
1月	1.6	2	0.4	1.9	2.1
2月	3.4	4.5	4.8	4.2	-12.4
3月	-5.4	-6.2	-3.8	-3.2	-19.8
4月	-10.7	-12.8	-8.5	-7.7	-22.2
5月	-9.6	-11.2	-9.3	-6.3	-19.1
6月	-5.1	-6.3	-4.2	1.3	-32.8
7月	-7.9	-9.7	-9.5	-2.8	-16.4
8月	-5.6	-6.6	-3.5	-2.6	-24.3
9月	-3.1	-9.3	-6.6	12.4	-29.5
10月	-3.3	-4.9	-7.6	-5.1	47.3
11月	-2.4	-6.3	-5.4	0.4	24.3
12月	-3.8	-7.8	-4.2	1.9	-4.9

（出典：経済産業省が発表している「商業動態統計調査」の統計データ）

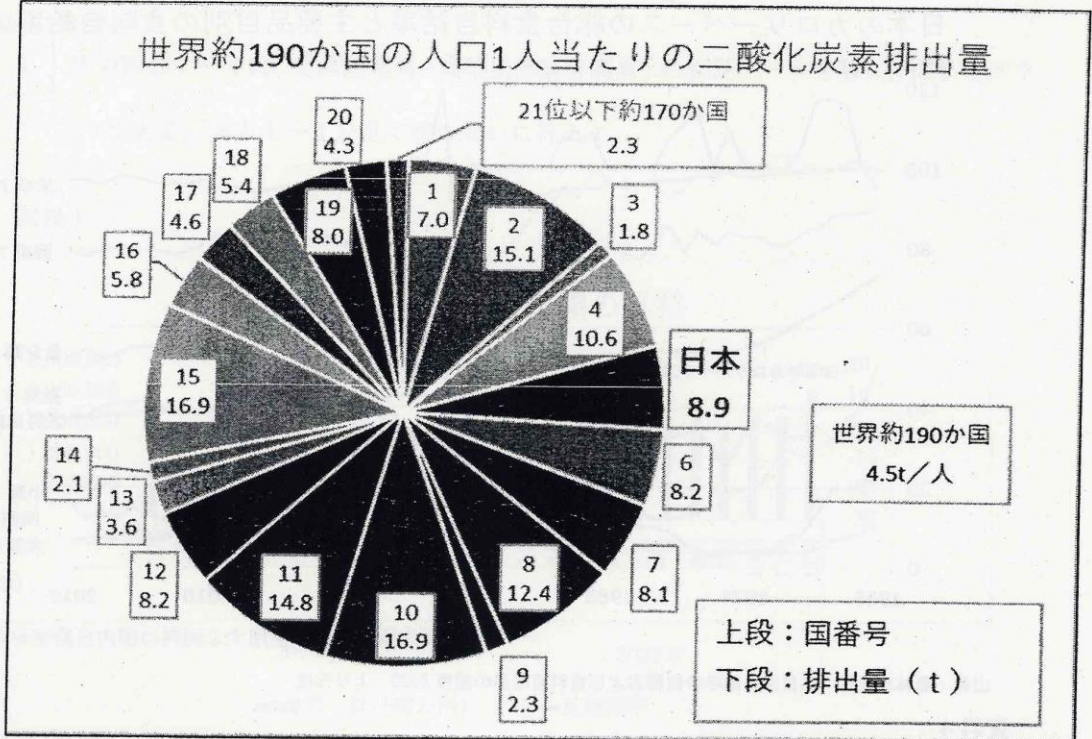
問1：図表1、2は2019年から2020年の百貨店・スーパー、コンビニエンスストアの販売額の推移である。両方のグラフにおいて2020年4月から5月にかけて販売額が前月よりも大幅に減少しているのはなぜか。この時期に起きた社会的背景を踏まえて25字以内で簡潔に説明しなさい。

問2：図表1～4を見ると、2020年5月以降の販売額の推移に変化が見られる。図表3と4を比較し、百貨店・スーパーとコンビニエンスストアの販売額の動向の違いとその理由は何か、また、コンビニエンスストアの販売額を増やすためにどのような取り組みができるか、違いとその理由、取り組みについて261字以上300字以内で述べなさい。

2

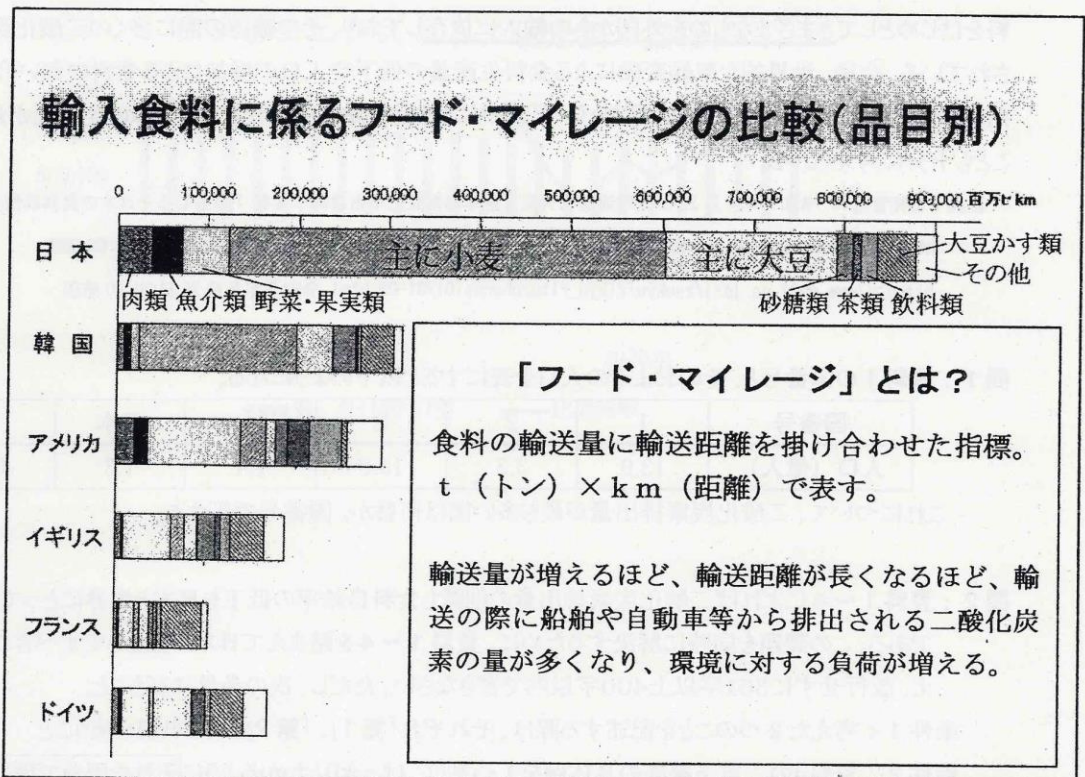
資料1～4を見て後の問いに答えよ。

資料1



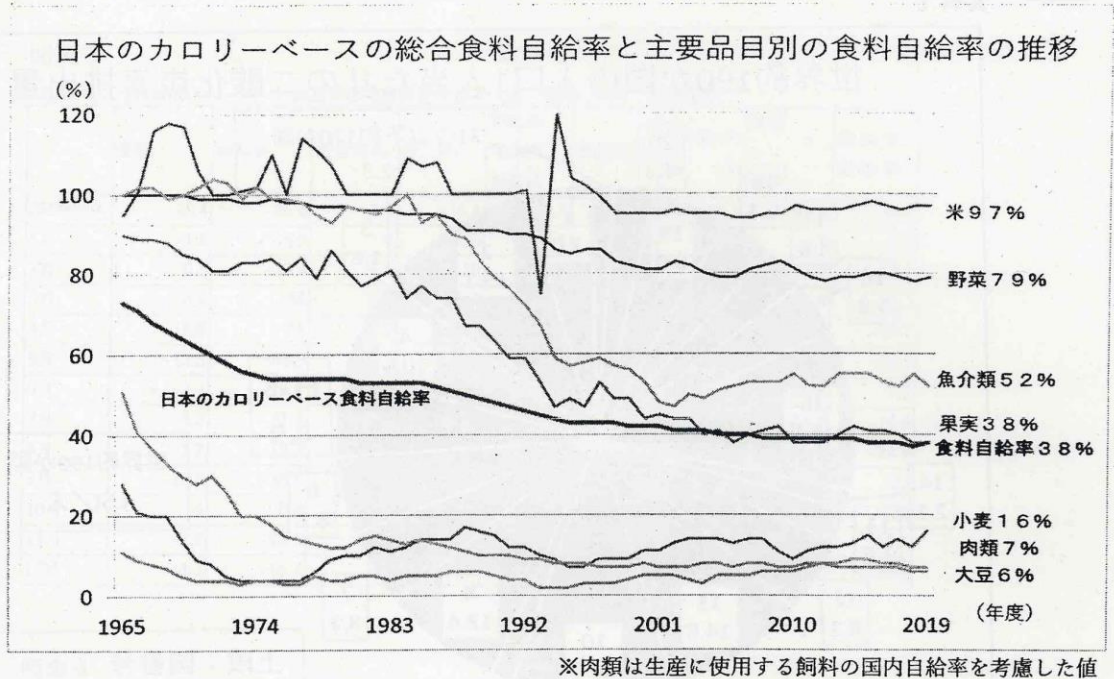
出典：British Petroleum2019 による石油・液化天然ガス・石炭の使用量を二酸化炭素排出量に換算したもの、および、世界銀行による人口統計 2019 を用いて作成

資料2



出典：食料・農業・農村政策審議会企画部会地球環境小委員会 林政審議会施策部会地球環境小委員会 水産政策審議会企画部会地球環境小委員会 合同会議資料 中田哲也（北陸農政局企画調整室長）2012/9/30 これに品目の概要とフード・マイレージの説明を加筆

資料3



出典：農林水産省 品目別自給率の推移および食料自給率の推移 2020 より作成

資料4

世界各国は地球温暖化を食い止めようと主要な温室効果ガスの1つである二酸化炭素の排出量を削減しようとしている。日本も2030年までに2013年に比べて二酸化炭素排出量を46%削減しようとしている。さらに2050年までに実質的な二酸化炭素排出量を0とするカーボン・ニュートラルを目指している。一方で日本は食料をはじめとしてさまざまなものを外国からの輸入に依存しており、その輸送の際に多くの二酸化炭素が排出されている。今後、世界的な気候変動による食料生産量の低下や人口の増加による食料の奪い合い、家畜疾病や新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックによる食料輸入の停止など、日本の食生活が危機に陥ることも十分に考えられる。

出典：首相官邸 HP 令和3年4月22日地球温暖化対策推進本部掲載記事と農林水産省「知ってる？日本の食料事情」より作成

[https://www.kantei.go.jp/jp/99\\_suga/actions/202104/22ondanka.html](https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/actions/202104/22ondanka.html) 令和3年5月26日 20:00 確認

[https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu\\_ritu/ohanasi01/01-02.html](https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/ohanasi01/01-02.html) 令和3年5月26日 20:00 確認

問1：資料1の国番号と、そのおよその人口を表にすると以下のようになる。

国番号	1	2	3	4	日本	6
人口 (億人)	13.9	3.3	13.6	1.4	1.3	0.8

これについて、二酸化炭素排出量が最も多い国は何番か。国番号で答えよ。

問2：資料1～4によれば二酸化炭素排出量の削減も食料自給率の低下も日本と世界にとって大きな課題である。この課題を同時に解決するために、資料1～4を踏まえて日本が国としてすべきことを2つ考え、改行せずに361字以上400字以内で書きなさい。ただし、次の条件に従うこと。

条件1：考えた2つのことを記述する際は、それぞれ「第1」、「第2」という表現を使うこと

条件2：資料4の二重下線部の具体例を1つ挙げ、はっきりとわかるようにそれを四角で囲む

条件3：以下の囲みの中の7つのキーワードを必ず1度は用い、はっきりとわかるように、用いたキーワードには太い下線をはっきりとつけておく。複数回用いる際は最初の1つのみに引く。

持続可能	地産地消	リサイクル	再生可能エネルギー
フード・マイレージ	食料自給率	地域活性化	